



日本の絆 今こそ強く

校長 堀井賢治

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

新年を迎えて早々に能登半島地震がありました。地震による家屋の倒壊やその後の火災等で多くの方の尊い命が失われ、今なお行方不明の方もいらっしゃいます。また、被災された地域では、避難所での生活を余儀なくされていたり、ライフラインが復旧していない中で生活をされていたりと大変な状況が続いています。お亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方の生活が一日も早く改善されますことを願っています。

年末年始は、スポーツの大会が多く行われます。高校生では、バスケットボールやラグビー、サッカー、駅伝などの全国大会、大学生では、ラグビーやアメリカンフットボール、箱根駅伝など、このような競技が毎年テレビ中継され、私自身の冬休みの楽しみになっています。1月2日は、朝から第100回を記念する箱根駅伝が実施され、青山学院大学がこの日の往路優勝を決めました。往路優勝の監督インタビューで、原晋監督がまずはじめに話をしたことは、前日の能登半島地震で被災されている方へのお見舞いのことばと、そのような状況が起きているにもかかわらず箱根駅伝の実施を決断し、運営してくれた多くのスタッフへの感謝のことばでした。また、午後からの高校サッカーの試合には、被災した地域の石川県の代表の星稜高校と、富山県代表の富山第一高校が出場しました。震災のため、応援団が会場に来ることができないと知った対戦相手の学校や、すでに敗戦した学校の関係者などが会場に駆けつけ、応援している様子がテレビ画面にも映し出されていました。星稜高校の応援席には「がんばれ！ 日本の絆 今こそ強く」という横断幕が掲げられていました。選手たちには、これまで支えてくれた人に全国大会でプレーする姿を直接見せたかったという想いがきっと強かったと思いますが、それでもこのようなサポートは心強かったのではないかと思います。学生の大会は、その瞬間にかけた想いが伝わり、見る人に感動や勇気を与えてくれます。今回のこのような行動は、被災された方をはじめ、多くの方の心に温かい気持ちと前に向くエネルギーを与えてくれたように感じます。私自身に何ができるか問われると大きなことはできませんが「日本の絆 今こそ強く」そんな気持ちを大切にしたいと思います。

保護者の皆様には12月には学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。多くの保護者の皆様からいただいたご意見を大切に、今後の教育活動に役立てていきたいと思えます。また、学校の取組等に対する励ましや感謝のお気持ちもたくさんいただきました。このようなメッセージは私たち教職員の大きな励みとなります。保護者の皆様のお気持ちに甘えることなく、教育活動を進めていきます。現在アンケートの集計と自由意見に対する学校の回答を準備しています。近いうちに周知させていただきますのでご確認ください。よろしくお願いいたします。

【 1月の予定 】

日	曜日	行事予定等	備考
1/1	月	完全閉庁日	
2	火	完全閉庁日	
3	水	完全閉庁日	
4	木	学校閉庁日	
5	金	冬季休業日終	
6	土		
7	日		
8	月	成人の日	
9	火	始業式・安全指導	SC SSW
10	水	給食始・各委員会	
11	木	代表委員会	
12	金	スキー移動教室事前指導(1年)	SSW
13	土	土曜授業日・学校公開日	
14	日		
15	月	スキー移動教室(1年)始・振替休日(2年・3年・7組)	

日	曜日	行事予定等	備考
1/16	火	スキー移動教室(1年)	SC SSW
17	水	移動教室(1年)終	
18	木	振替休日(1年)	
19	金	スキー教室事後指導(1年) 英検16:00~	SSW
20	土		
21	日		
22	月	全校朝礼・私立推薦入試(3年)	
23	火		SC SSW
24	水	職員会議	
25	木		
26	金	⑥カット 研究発表会・都立推薦入試始(3年)	SSW
27	土	都立推薦入試終(3年)	
28	日		
29	月	生徒朝礼	
30	火		SC SSW
31	水	避難訓練	

※備考欄 SC…スクールカウンセラー S S W…スクールソーシャルワーカー 勤務予定日

☆12月のトピックス☆

薬物乱用防止教室 (12/15)

中学校3年間で毎年行われる「薬物乱用防止教室」では、主に次の3つの視点で講演をいただき、学習しています。

- 1 薬物犯罪から自分自身の身を守るという視点 (警察関係の方を講師に)
- 2 薬物の恐ろしさを体験談から学ぶ視点 (薬物依存から立ち直った方を講師に)
- 3 身の回りにあるお薬の正しい使い方を学ぶ視点 (薬剤師の方を講師に)

今回は、2つめの視点で学習をしました。講師には、八王子ダルクの方をお招きしました。

ダルクとは

「薬物依存症」から回復して社会復帰を目指す民間のリハビリ施設で、1985年に設立、東京都荒川区に誕生した日本で初めての民間の薬物依存症の回復施設です。

DARCとは Drug (ドラッグ) Addiction (依存症、行動嗜癖) Rehabilitation (リハビリ) Center (施設)の文字の頭文字をとってDARC (ダルク) といいます。

全国のダルクが、それぞれの地域の方々、医療・福祉・司法・教育関係者と連携をしながら運営しております。ダルクの特徴は創設者、スタッフはほぼ全員が薬物依存症から回復した本人で運営されているところです。回復のためのプログラムは先に薬物を止め続けている人たちが新しく来る人を手助けしながら共同生活を行い、毎日グループミーティングを行うことが中心となっております。

(八王子ダルク ホームページより抜粋)

お2人の方のお話を伺うことができましたが、現在大学生の方のお話は、生徒にとっては他人ごとではなく、自分の身近なところにも危険があることを感じたのではないかと思います。

部活動等の活躍!

【女子バスケットボール部】
101地区新人バスケットボール大会
準優勝

【卓球】
東京都中学校新人卓球大会
女子シングルス ベスト32 2-3女子生徒

【英語部】
第76回東京都英語学芸大会(オンライン開催)
英語劇の部 第2位 作品名「シンデレラ」
パフォーマンスの部 優秀賞 作品名「抹茶」
優秀賞 作品名「狂言」

【税の作文・標語】
税の作文
小平市教育委員会 教育長賞 3-3 男子生徒
税の標語
東村山間税会 会長賞 3-2 女子生徒